

土壌診断結果の見方

土壌診断結果

受付日:	圃場名	きゅうり	面積	リン吸	1165 (中程度)	圃場No.	
氏名	住所	きゅうり 江別市	土壌型	泥炭土	CEC	58 (高い)	発行日
作物名	＜ハウス(促成、半促成、ハウス早熟)＞		土性	腐植	% (多量)		担当者

基本分析	分析値	基準値	グラフ
pH	適正		
EC(mS/cm)	1.14	[0.5 - 0.5]	
石灰	充分		
苦土	充分		
カリ	充分		
リン酸	充分		

養分バランス	分析値	基準値	グラフ
石灰飽和度(%)	62	[40 - 60]	
苦土飽和度(%)	20.8	[< 20]	
カリ飽和度(%)	1.4	[< 10]	
塩基飽和度(%)	84	[60 - 80]	
石灰・苦土比	3.0	[4 - 8]	
苦土・カリ比	15.3	[2 <]	

特別分析	分析値	基準値	グラフ
銅	不足		
亜鉛	適量		
マンガン	不足		
ホウ素	充分		
硝酸態窒素	充分		

* 基準値は施肥前の値になっています。

硝酸態窒素
土壌に含まれる窒素量です。露地では熱水抽出性窒素を、施設では硝酸態窒素を測定します。

施肥対応
きゅうりのECは0.5前後がよいでしょう。
石灰、苦土、カリ、リン酸…作土中に充分含まれています。
ホウ素…作土中に充分含まれています。
銅、マンガンは不足…微量元素肥料の施肥をお勧めします。
*銅の欠乏症…葉が折れ曲がったり、奇形になる。先端が枯死する。
*マンガンの欠乏症…新葉の葉脈間が黄化する。
硝酸態窒素…作土中に充分含まれています。
*pHの分析値は、ECの分析値で補正してあります。

土壌改良資材	北海道施肥標準量(基肥量) (kg/10a)		
成分	施肥標準	施肥対応後	
窒素	20.0	→	5.0
リン酸	20.0	→	0.0
カリ	20.0	→	10.0
苦土	5.0~6.0	→	0.0

施肥設計

株式会社丹波屋 執行役員 肥料部長 豊嶋博美



担当者欄
担当者がコメントを書く欄です。

施肥標準量
各作物の年間施肥量または基肥量です。「北海道施肥ガイド2010」に基づいています。

pH
溶液中の水素イオン濃度 [H⁺] を表します。濃度が高くなるほど、pHの値は低くなります。

EC
電気がどのくらい流れるかを表した値です。塩類濃度の指標となります。ECは通常、硝酸態窒素が多いと、高くなる傾向にあります。

リン吸
土壌がリン酸を固定して、不溶性リン酸にする力です。高いほど、リン酸を固定しやすい土になります。

CEC
保肥力、つまり施肥した肥料を蓄える力です。値が高いほど、保肥力が高いといえます。

石灰、苦土、カリ
土壌に含まれる石灰・苦土・カリの量です。交換性塩基ともよばれ、土壌中でpHを下げる原因である[H⁺]と交換されます。

腐植
広い意味で土の中の有機物の量を表します。値が高いほど、有機物が多く、物理性や保肥力を良くします。

リン酸
土壌に含まれるリン酸のうち、作物が吸収利用可能な有効態リン酸の量です。

コメント欄
分析結果から、バランスの良い土にするための対応策です。

石灰、苦土、カリ、塩基飽和度
CECに対して、どれだけ交換性塩基(石灰、苦土、カリ、その合計)で満たされているかを割合(%)で表したものです。

土壌改良資材欄
分析結果から、値を適正にするために必要な土壌改良資材の量を計算したものです。

石灰・苦土比、苦土・カリ比
土壌中の交換性石灰と交換性苦土、交換性苦土と交換性カリのバランスです。

施肥対応量
土壌分析の値に基づき、施肥対応をした後の値です。「北海道施肥ガイド2010」に基づいています。

銅、亜鉛、マンガン、ホウ素
土壌に含まれる各種微量元素の量です。